

広野町と広野町議会は10月28日（火）、株式会社JERA本社を訪問し、要望活動を実施しました。令和5年10月に広野火力発電所の1号機、3号機、4号機の廃止が決定され、令和7年9月に2号機についても廃止が決定されたことを受けて、廃止ユニットの跡地活用について、新たなエネルギー拠点となる構想の確立など、未来のエネルギー社会に向けて、広野町と共生の歩みを進めていただくよう要望しました。



森崎常務執行役員への要望書手交



要望活動の様子

## 要望事項

- 広野火力発電所1号機から4号機の跡地活用を重要案件事項と位置付け、スピード感を持って御検討いただきたい。
- 跡地活用については、使用する燃料や再生可能エネルギーとの組み合わせなど、あらゆる可能性を追求した発電事業を中心に、新たなエネルギー拠点となる構想を確立していただきたい。
- 発電設備の撤去については、地元の意見をよく聴いて御対応いただきたい。

## 要望活動における議員の意見

- 平成16年4月、本町議会議員が東京電力株式会社本社を訪問し、当時の副社長と意見交換をした際に、「広野火力発電所は現在ある送電設備を効率的に利活用する上でもいつになるか分からないが、古くなったものはやめて新しいものをつくることを考えている。」との発言があった。新しい技術によるエネルギーの確立に向けた取組は広野火力発電所から始まるという構想の下に取り組んでいただきたい。（渡邊正俊議長）
- 新技術による発電事業の展開など、2050年ゼロエミッションの達成に向けて、引き続き広野町との共生の歩みをお願いしたい。（遠藤浩副議長）
- 発電設備の撤去作業については、町の活性化のため、地元企業の活用を検討していただきたい。（高木光雄議員）
- 碧南火力発電所（愛知県）のような水素やアンモニアを使った方式を検討していただきたい。（渡邊忠義議員）
- 跡地活用の方向性については、町や町民と一緒に考えて考える場をつくっていただきたい。未来への取組については、地域雇用の維持に繋がるよう配慮いただきたい。（西本久雄議員）

町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指し、11月28日（金）18時よりひろの未来館、29日（土）10時より中央体育館において「町民と議員との意見交換会」を開催しました。

今回の意見交換は、気軽に発言できる環境づくりとして、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の2グループに分かれて行いました。

議会や町政に対し、様々な意見をいただくことができましたので、主な意見を紹介します。

## 11月28日（金）ひろの未来館（参加者6人）

### 総務文教常任委員会

- 各種計画等の理解促進について  
町が策定する各種計画等について、内容や進捗状況を住民が理解できる環境を作ってほしい。
- 役場前交差点地下道の案内表示について  
国道6号の役場前交差点周辺において、歩行者の危険な横断が見られることから、地下道の案内表示をしてほしい。
- 駅前交番の設置について  
住民や学生、来訪者の安心感を高めるため、駅前に交番を設置してほしい。



意見交換の様子（総務文教常任委員会）

### 産業厚生常任委員会

- 工事の監督及び検査について  
建退共の証紙が適切に使用されるように指導をしてほしい。
- 給食に係る地元産食材の調達方法について  
希望する地元生産者が給食食材の供給に参画できるように、調達方法の仕組みを明確にしてほしい。
- 町の農政構想について  
町の農政に関する全体的な構想を話し合う場を設けてほしい。



意見交換の様子（産業厚生常任委員会）

## 11月29日（土）中央体育館（参加者1人）

### 総務文教・産業厚生常任委員会合同

- 移住者に対する地域コミュニティの案内について  
移住者に対し、行政区等の地域コミュニティを案内する仕組みを検討してほしい。